

おわりに

「第4次男女共同参画基本計画」においては、上場企業役員に占める女性の割合を「5%（早期）、更に10%を目指す（平成32年）」とする成果目標を盛り込んだ。

女性役員の登用は、企業の競争力や社会的評価の向上を通し、企業価値を向上させると考えられており、企業が持続的に成長するために必要なことである。

今回作成した女性役員候補者に対する研修モデルプログラムは、候補人材の発掘機能と確保機能を併せ持つ形で、かつ、関係機関が連携して実施することにより、女性役員登用の機運をより一層盛り上げ、「202010目標」達成に貢献するものと考えている。

今後、研修モデルプログラムの実施に当たっては、幅広い周知と参加者の募集、多くの機関による実施がなされるとともに、適切な効果の検証及び検証結果を踏まえたモデルプログラムの改善がなされることを期待する。

